

「きょうだい児」とは障害のある兄弟姉妹を持つ子どもたちのことです



きょうだい児ピアサポーター 相談事業のご案内



障害児のきょうだいとして育った経験を持つ「ピアサポーター」が、グループ相談会形式で、きょうだい児の皆さんの気持ちに寄り添いながら相談をお受けします。

日時 令和7年11月16日（日曜）午後2時～3時30分

場所 大泉障害者地域生活支援センターさくら（練馬区東大泉5-35-2）

対象 主に中学生以上の
きょうだい児
（20代の方も参加できます）

**参加
方法**

事前申込制

< 申込期限 >

11月13日（木）

【申込フォーム】



ピアサポーターの紹介

	Aさん	Bさん
現在の職業・所属	大学生	不動産IT企業のプロダクトマネージャー
きょうだい児としての経験	障害のある兄弟との関係は悪いです。父親がいないため、母は弟の面倒ばかり見ていたので、いつも一人だったし、後回しにされていました。子ども時代に感じていたことは、「母は私のことは何もやってくれない。」と思っていました。今もです。中学校の3年間は不登校でしたが、高校は通信制に行き、今は大学に通っています。	きょうだい児として、妹の面倒を見つつも自分の意思が強く、やりたいことを自由に楽しんでいました。父は仕事、母は妹の世話で忙しかったため、外出は少なかったのですが、その反動で外の世界への好奇心が強く、小学生のころから一人で神戸の祖父母の家に通い、高校では1年間アメリカに留学するなど、行動的に過ごしていました。
相談者へのメッセージ	障害のある兄弟姉妹がいるお友達はいないため、相談者の方や私も共感できることがあれば嬉しいです。	社会人6年目となった今、いろんな立場や背景を持つ人を思いやって働けるのは、この経験のおかげだと思います。こういうケースもあるんだなと知っていたできれば幸いです。

あなたの気持ちを、安心して話せる場所があります。

まずは「話してみようかな」という気持ちを大切に。ご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】

【区ホームページ】

練馬区 福祉部 障害者施策推進課 事業計画係

電話：03-5984-4602 メール：SHOGAISISAKU02@city.nerima.tokyo.jp

